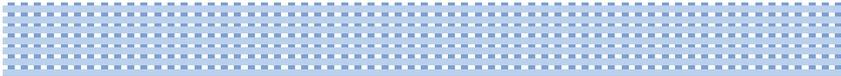


薬物依存症支援者のための
相談対応ハンドブック



平成23年 2 月

長 野 県
長野県薬物依存症対策推進会議

はじめに

政府は、従来から薬物乱用防止対策に取り組んでおり、平成9年1月には、内閣総理大臣を本部長とする「薬物乱用対策推進本部」を内閣府に設置し、同本部において、平成10年5月に「薬物乱用防止五か年戦略」、平成15年7月に「薬物乱用防止新五か年戦略」、平成20年8月には、「第三次薬物乱用防止五か年戦略」をそれぞれ策定するなど、薬物の乱用防止に計画的に取り組んできました。薬物乱用対策推進本部は、平成20年12月に「犯罪対策閣僚会議」の下に統合され、「薬物乱用対策推進会議」となりました。

平成22年3月に、総務省行政評価局による「薬物の乱用防止対策に関する行政評価・監視―需要根絶に向けた対策を中心として―」の結果報告書と総務省による同「結果に基づく勧告」が発表されています。それを受けた形で、「薬物乱用対策推進会議」によって、平成22年7月に、「薬物乱用防止戦略加速化プラン」が決定されました。この中のプランの目標2「薬物依存・中毒者の治療・社会復帰の支援及び家族への支援の充実強化による再乱用防止の推進」では再乱用防止対策の取り組みと薬物依存からの離脱への対策を強化するとされています。

この動きとは別に、厚生労働省では、平成21年度から3カ年計画で、自殺予防対策とも関連し、「地域依存症対策推進モデル事業」が開始されています。平成21年度は栃木県、岡山市、山口県、北九州市、佐賀県と長野県の6地方自治体が参加しています。長野県では、初年度は、関係者による依存症対策会議を設置し、相談対応機関、医療機関、自助組織の長野ダルクの相談の実態調査を行いました。今年度は、長野ダルクのメンバーの具体的な聞き取り調査をして、依存症治療を基盤にし、関係機関の連携の基本となるようなハンドブックと、当事者と家族それぞれに、依存症治療に関する相談先のリーフレットを作成しました。このハンドブックにより、地域における依存症対策の共通基盤形成に寄与できたのではないかと思います。

まだ不十分な点多々あるかと思いますが、今後の改訂のためにも、ぜひご意見を当センターまでお寄せください。薬物関連問題は、これまでは予防や取締りに力を注がれていましたが、依存症治療という観点でまとめられた本冊子を熟読し、ぜひご活用してくださるようお願い申し上げます。

終わりに、これまでに「長野県薬物依存症対策推進事業」に協力をしてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

平成23年2月

長野県薬物依存症対策推進会議委員長
長野県精神保健福祉センター
所長 小泉典章

目 次

はじめに

第 1 薬物依存症支援の基本	1
1 ハンドブック作成の趣旨	1
2 薬物依存症回復支援機関の果たすべき役割	1
(1) 相談対応機関	1
(2) 医療機関	6
(3) 自助組織・自助グループ	9
(4) 矯正・更生機関	11
(5) 県立医療機関 ー長野県立こころの医療センター駒ヶ根ー	11
第 2 薬物依存症の理解	13
1 薬物乱用とは	14
2 薬物依存とは	14
3 薬物中毒とは	16
4 乱用・依存・中毒の経時的関係を理解する	16
5 薬物依存症の進行段階	18
(1) 乱用	18
(2) 依存の始まり	19
(3) 依存初期～中期	19
(4) 依存末期	19
(5) 覚せい剤精神病	19
第 3 相談への動機付け	21
1 関係機関の連携	21
2 司法場面での依存症としての動機付け	21
3 本人、家族への情報提供	22
第 4 家族への支援	23
1 段階に応じた支援	23
(1) 巻き込まれの段階	23
(2) 回復のために動く段階	23
(3) 社会復帰もしくは社会参加の段階	24
2 想いに寄り添う支援	25
3 回復へ向けた継続的支援	26
(1) 個別支援	26
(2) グループ支援	29

第5	関係機関の基本的役割と薬物依存症への対応内容	30
1	医療機関	30
	長野県内の薬物依存症治療対応機関一覧	31
2	精神保健福祉センター	33
3	保健所・福祉事務所	33
4	市町村	36
5	薬物依存症回復施設（ダルク）	37
6	自助グループ	37
7	司法関係	38
8	地域生活定着支援センター	42
第6	薬物依存症相談の様式	43
1	薬物依存症相談記録用紙	43
2	連携のための薬物依存症連絡票	43
第7	違法薬物使用に関する法律	52
1	法律による薬物の取締りと罰則	52
	(1) 薬物に関する取締法一覧	52
	(2) 届出・通報義務	52
	(3) 届出・通報とその後の措置	52
	(4) 覚せい剤取締法、毒物及び劇物取締法について	54
2	薬物依存症患者・中毒者の処遇について	54
3	刑事事件の手続きの主な流れ	55
第8	モデル事例紹介	58
<資料編>		
◇	本人向けリーフレット	63
◇	家族向けリーフレット	65
◇	依存性薬物の種類と特徴	67
◇	薬物依存症治療プログラム紹介（小諸高原病院：医療観察法病棟内プログラム）	68
◇	薬物乱用防止戦略加速化プラン	83
◇	覚せい剤事犯者に対する保護観察所における主な処遇	84
◇	用語解説	85
◇	参考図書	88
◇	参考・引用文献	90

※本文中に*が付してある用語については、P85からの用語解説を参照してください。